

12月議会議案審議

採決結果

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第74号	条例	和水町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第75号	条例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第76号	補正予算	令和3年度 和水町一般会計補正予算（第5号）	〃
議案第77号	補正予算	令和3年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第78号	補正予算	令和3年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第79号	補正予算	令和3年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第80号	補正予算	令和3年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	〃
同意第16号	人事	和水町監査委員の選任について	原案同意

条 例： 2件
補 正 予 算： 5件
そ の 他： 1件
計 8件

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
126	令和3年 8月16日	歴史民俗資料館の展示品を既存施設に移転する計画に関する陳情書について	採択	総務文教 常任委員会

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
221	令和3年 11月24日	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い	継続 審査	議会運営 委員会

■人／事／案／件■

12月定例会において、監査委員の選任について上程され次のとおり同意されました。

○監査委員
有働 徳行（焼米）

令和3年度 一般会計補正予算

2億7,562万2千円を追加!!

総額86億6,471万9千円に

令和3年
12月
定例議会
報告

令和3年12月議会定例会は12月6日から10日までの5日間の会期で開催され、令和3年度補正予算など7議案（条例2件、補正予算5件）、人事案件1件が上程され、それぞれ可決された。

一般会計補正予算の主な内容は、歳入で国庫支出金として子ども・子育て支援事業費補助金138万6千円、感染症予防事業費等国庫補助金54万5千円、学校保健特別対策事業費補助金135万円、寄付金として、ふるさと応援寄付金1億5千万円であった。

歳出では総務費として、ふるさと応援寄付金返礼品代6,400万円、ふるさと応援寄付金基金積立金に7,500万円、民生費として学童遊具等備品購入費95万円、学童図書等購入費10万円、子育て世帯への臨時特別給付金5,850万円、商工費として三加和温泉内水辺公園清掃工事123万円、土木費として側溝等整備工事に2,200万円、農林水産業費として中山間地域等直接支払事業交付金40万1千円であった。12月6日と7日の一般質問では6名の議員が質問を行った。

一般会計・特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	2億7,562万2千円	86億6,471万9千円
介護保険事業会計	293万9千円	14億8,154万9千円
下水道事業会計	414万3千円	8,695万2千円
特定地域生活排水処理事業会計	1,127万1千円	1億3,792万8千円
後期高齢者医療事業会計	12万6千円	1億8,760万1千円

委員長 坂本 敏彦

令和3年11月1日（月）・2日（火）に議員6名、町職員2名で新型コロナウイルス感染症減少傾向のなか、感染予防対策を十分行いながら視察研修を行った。

研修先は、球磨郡山江村の有限会社「やまえ堂」、令和2年7月の豪雨災害により甚大な被害を受けた人吉球磨地方の復旧状況、防災トイレ新築工事の道の駅「錦」、高齢者向けeスポーツに取り組んでいる下益城郡美里町の4カ所を研修した。

有限会社「やまえ堂」(従業員17人、栗原料30t)

山江栗ブランドを再認識してもらいたいと、添加物、着色料、漂白剤を一切使用せず、安全・安心、美味しさにこだわった手づくりのオリジナル栗加工品の製造・販売（売上高約1億円）に取り組んでいる。

町事業として、約8千本の栗の木が新植されたが、生産農家の高齢化が課題であることから、今後も栗園を借り受けて栗の生産と加工事業を拡大して、販路も全国に広げ将来は海外に進出し、村の基幹産業に成長させたいとのこと。



郷土の家庭料理店「ひまわり亭」

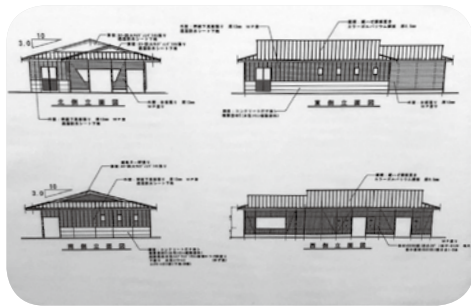
令和2年7月の豪雨災害により自らの店舗が被災したにもかかわらず、炊き出しや弁当配布等「食」による被災者支援を現在も続けている。再開した「ひまわり亭」での昼食後、代表の本田 節さんから被災時の状況、復旧支援活動の講演をいただいた。



道の駅「錦」防災トイレ

人吉球磨盆地の中央に位置する道の駅「錦」で、災害時にも対応できる新築工事の防災トイレを視察。

多機能トイレや休憩所、ゆとりブース、子どもコーナー、停電時にも利用できるように発電機も完備される計画である。今回は建設中であり外観、平面図、立面図、完成予想図の視察となった。



高齢者向けeスポーツに取り組んでいる美里町 (高齢化率46%、人口9,462人)

eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの省略。町が取り組むeスポーツは、高齢者を対象としたコンピューターゲーム、テレビゲームを使った対戦型のゲームで、地域の公民館で行われている様子を視察した。



10名程の高齢者が対戦型ゲームを楽しんでいた。話を聞くと「慣れるまで大変だったが、今では孫との対戦が毎日の楽しみです。」とのこと、eスポーツで世代間交流が行われている様子がうかがわれた。

迎春 2022



年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。
日頃より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年を振り返りますと、「コロナ禍」という言葉に代表されるように、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの生活が大きく変化した1年でした。日本国内においても緊急事態宣言が発令されるなど社会生活が大きく変化する年となりました。本町においても、町イベントや学校行事、地域の諸行事などが中止され、各方面に多大な影響を及ぼしました。
町議会でも、議場内のソーシャルディスタンスの確保や飛沫防止パーティションの設置など感染拡大防止の対策を講じながら、議会活動を継続してまいりました。
昨年の8月12日から15日にかけて、局地的に猛烈な雨が九州北部地方を襲いました。本町においても長期間に渡り雨が降り、警戒

レベルでは最も高い緊急安全確保が発令されました。人的被害はありませんでしたが、河川や道路、農地などに大きな被害をもたらしました。現在、復旧に向け取り組んでいるところです。
町政を取り巻く環境は、従来の福祉、教育、環境など多岐にわたる課題に加えて、新型コロナウイルスへの対応という新たな緊急課題が重なり、非常に慎重な判断が必要とされる局面を迎えています。町議会として、住民の安全で安心な生活を守っていくため、皆で知恵を出し合い、この窮状を乗り越えていくかなければならないと考えます。二元代表制の一翼を担う議会としての役割を十分果たせるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも住民の皆様のご理解とご協力を賜ることを願います。
結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



蒲池 恭一
和水町議会議長



総務文教常任委員会



厚生建設経済常任委員会



竹下 周三議員

公共施設の有効活用を！

問 菊水ロマン館及び三加和温泉の今後の見通しは。

答 (町長) 現在は指定管理制度期間中である。菊水ロマン館は令和5年度まで、三加和温泉ふるさと交流センター等は令和4年度までとなる。公共施設個別計画では、施設機能を維持しながら民間への売却を検討する。又、三加和温泉等については今年度から市場調査をして慎重に検討を重ねていく。

提案 地域住民の意向と運営事業者等との兼ね合いに配慮しながら、本町の宝であるこれらの施設活用については慎重に進めて頂きたい。

問 豪雨災害の主だった復旧状況について。

答 (町長) 本年8月の豪雨災害は、申請110件、復旧完了は47件、復旧率は42%、本年度の完了を目指す。

答 (建設課長) 間伐作業道災害復旧状況は、詳細測量完了次第ではあるが協議の上、令和4年2月上旬に

工事発注をして、6月竣工予定である。

答 (農林振興課長) 農業災害については、令和2年の災害復旧分が完全でない状況である。場合によっては繰越しとなる見込みである。

問 山に降った雨が河川に到達する過程の災害が露呈している。町河川等、一級河川以前の対策は、荒廃した山林や町河川や小川の対策は。

答 (農林振興課長) 近年の雨は異常な状況であり、森林整備の促進、少子高齢化の波の対策と山林所有者の意識の向上を促していきたい。

問 和水町の財政状況(基金)について。

答 (総務課長) 財政調整基金は、平成28年度をピークに減少している。28年度約31億9千万円。今年度約27億6千万円と減少しているが、ふるさと応援寄附金は増加している。基金に頼らず、事業の見直し等を図りながら健全な財政運営をしていく。危機感をしっかりと持って改革を進めていきたい。



秋丸 要一議員

移住定住支援センターは
定住促進の
切り札となるか！

問 空き家の実態調査策定からすでに1年以上も経っている。進捗状況は。

答 (町長) 空き家等の実態調査と併せて空き家の所有者にアンケート調査を実施している。移住定住促進については、今年度現時点で成約件数が8件で15人が移住定住されている。

問 10月移住定住支援センターがスタートしたがその業務内容は。またどのような成果を期待しているか。

答 (まちづくり推進課長) 10月より協力隊3名体制でスタートした。定期的に移住定住相談会に加え暮らしとお金の相談会等も計画し若者世代への声かけをしている。都市から我が町に多く人を呼び込むために移住定住支援センターやお試し住宅の活用等で移住、定住促進の事業をやっている。また税務住民課の調査でさらに多くの空き家バンクの対象物件が見込まれる。新しい空き家のデーターを待っている状況だ。

問 危険廃屋が町内にどれくらいあるか。実態調査しているか。

答 (税務住民課長) 現在、把握していない。

問 住民からの撤去要望にはどの様に対応するか。

答 (税務住民課長) 所有者、管理者に連絡し対応をお願いしている。

問 町三役の年間給与額を町ホームページ(以下「HP」と略)に掲載し広く町民の皆様にご告知するべきと思うが見解を求める。

答 (町長) 町長、副町長はHPの「給与状況」に掲載している。

問 教育長の分が簡単に検索できない。(教育長) HPの例規集の第5編の給与項目で給与は確認できるが、年間給与額は記載していない。

答 (学校教育課長) 教育長の給与は給与及び旅費に関する条例の第3条に掲載している。

問 町民の皆様が簡単に検索出来るようお願いします。

答 (学校教育課長) 例規集を開かなくてももっと簡単に確認出来るよう検討する。

提言 コロナ禍で町民の皆様が不況にさの額が仕事に見合った額なのか、税収が脆弱な当町にとって妥当な額なのか町民の目は厳しいものがある。私たち議員も含め、身を切る改革意識が必要な時ではないでしょうか。



池田龍之介議員

ふるさと応援寄付金は適切に
処理、管理されているのか？
適切な事業に
活用はされているのか!!

問 ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)は、自主財源の乏しい我が町にとっては喜ばしい限りであり、年々増加の傾向にあり今年度の見通しはどの様に捉えているか。また、企業版ふるさと納税制度導入を提言していたが、その進捗状況はどの様になっているのか。

答 (町長) 令和2年度の実績である納税件数3万2千204件、金額で5億5千535万5千円に対し、令和3年度の件数を4万8千件、金額を7億5千万円と見込んでいる。また、企業版ふるさと納税制度については、令和4年1月に申請を行い、3月末に認定を受け、4月から受入を開始する段取りで作業を進めている。

問 ふるさと納税の使い道の事業名に共感を覚え寄附をされているものと捉えるが、今年度から『ふるさと応援寄付基金』が創設され、2億5千万円程積立てられているが、総額から諸経費を差し引いた差額はどの様な事業に活用されたのか。

答 (まちづくり推進課長) 昨年度の寄付金が5億5千5百万円あったので、広告料、返礼品代、システム手数料等の2億7千4百万円を差し引き、大雨災害復旧費に4億2千万円執行し、2億5千万円程積立てを行った。

問 使途項目が町長一任のほか7項目あるが、管理はどの様にされているか。

答 (総務課長) 町長一任、金栗四三顕彰、あ

いのりくん事業、大雨災害支援と分けて管理をしている。

問 今言われた4項目は令和2年度の応援寄付金の使途項目であり、それ以前の項目の管理はされていないのか。これは、目的税同様使途に関しては制限がある訳で、それに相応しい管理が必要と想う。

答 (まちづくり推進課長) 平成20年度から令和元年度までは、項目に関連する事業で執行している。

問 使われているのであれば、後で資料の提出を求める。

答 (総務課長) 決算資料で確認し報告を行う。この応援寄付金は、50%補助金と捉え残りの半分は一般会計から繰出し事業をやる位の気構えを持つことが、応援寄付をされた方々に対し町が示す誠意であると思う。

答 (まちづくり推進課長) 考え方としては、その通りと思うが、総務省の縛りがあり、事務経費を差し引いた額で有り難く事業に使わせて頂くという考えで応援寄付金の運用をしている。

提案 自主財源の乏しい我が町にとって額面通りの事業を実行するのは難しいとは私も分かる。そういった気持ちを持って事業の精査をした中で使っていたきたい、それが、応援をして頂いた方々への誠意ではないかと想う。



蒲池 恭一議員

コミュニティバスの
運用を早急に!!

問 1期4年間も終わりに近づいている中で、公約を含め実現出来たこと、出来なかったこと、反省も含め問う。

答 (町長) 選挙広報に、1つ目に子育てや教育を充実します。2つ目に定住化に向けた整備を行いいます。3つ目に福祉の充実を図ります。という大きな項目を掲げ、選挙公約として最優先で取り組んだことは、菊水地区の学校統廃合事業であり、予定どおり開校を迎えることが出来た。このほか国際化に向けた幼稚園・保育園児からの英語教育実施は、令和元年度から事業を開始している。又、合併支援道路としての県道・町道の整備も着実に事業推進が図られている。

宅地造成等の定住化推進は、藤田さくらタウン19区画を完売し64名の移住・定住を実現することが出来た。学校給食の段階的な無償化は、課題も多く検討はしたがゴー

サインは出していない。

ふるさと納税については、平成30年750万、令和元年5、600万、令和2年5億5、500万、令和3年7億5、000万(予定)と納税して頂いている。1期4年間も終わりに近づき、公約を含め目標達成に向け、確実に事業を進めることが出来た。

問 高齢者に優しいインフラの整備を考えたとき、10月から春富地区への産交バスの乗り入れが終わり、旧緑校区の十町地区・旧春富校区の和仁地区は商店もほとんど無く、買い物難民・高齢者の免許返納を促す上でも、コミュニティバスの運用が必要と考えるが。

答 (町長) 早急に整備すべきだと思ふ。

●その他の質問

グラウンド等の使用料免除について。



悲劇が起こってからでは遅い!!

問 町道岩線改良工事の今後のスケジュールを問う。

答 (町長) 中岩区の改良工事は本年度末に完了予定。次年度より上岩工区の道路改良工事を進めるために詳細設計を行い、令和4年から令和6年の3カ年で完成するよう事業を進めていく。

問 改良工事に伴う水路の機能変更が予定されているが、地元の水利組合との協議はされているか。

答 (建設課長 県の補償基準に従い、15年以内での電気料金の補償を考えている。ポンプのサイズ、利用期間、どのくらい使用するかで電気料金が変わってくるので、水利組合と詳細を協議している。

問 岩村川につながる町河川の九須町川の土砂堆積の原因は何か。

答 (町長) 九須町川上流部に太陽光発電事業が行われているので、

土砂堆積原因の一つとして考えており、県・町、地元行政区、スマートソーラーと対策協議を行っている。

問 河川がこれだけ汚れているのにクレーム等はないのか。

答 (まちづくり推進課長) 菊池川漁協同組合と事業者などの4者で公害防止に関する協定書が交わされているが、何らかの原因で立会いをして欲しいというよう要望はない。

問 南関町の太陽光発電による大規模な土砂流出のような悲劇がないと行政は動かないのか。

答 (まちづくり推進課長) 県の関係各課と協議をしている。山鹿市や菊池川漁協にも声をかけて少しずつ解決に向けて前進していきたい。



・南小体育館にかわる指定緊急避難所を南校区内に設置する考えは
・道路整備と交通安全対策は
・給食費無償化は教育への投資では

問 日平・蟠浦・用木・萩原区の区長連名の南校区内に避難所設置の要望書はどうなったか。

答 (町長) 町公施設を利用する。

問 旧南小跡地を購入し避難所に。

答 (町長) まず自主的な避難を。

問 消防菊水分署上の町有地は。

答 (町長) 具体的な計画は無い。

問 旧南小プール跡地の活用は。

答 (町長) 現状での売却も検討。

問 特老きくすい荘の新築建替えは。

答 (町長) 地質調査は終わった。

問 本年度中に候補地を決定する考え。

答 (建設課長) 警察の回答は隣接の玉名市と協議中とのこと。警察と県に安全対策を要望していく。

問 用木からの江田高野線開通は。

答 (町長) 令和4年度完了予定。

問 江田四つ角交差点改良完成は。

答 (町長) 県から用地買収が完了していないと聞いている。したがって完成時期は未定。町としては早期完成に協力していく。

問 鶯原区の道路側溝の蓋設置は。

答 (町長) 平成29年度から工事開始。災害復旧工事を優先しているが、今後は少しずつ進めていく。

問 江光寺瀬川線の樹木の伐採は。

答 (建設課長) 町道の樹木伐採は個人所有もあるので、できない事もある。要望書が出ていない。

問 給食費の無償化は移住定住の促進や子育て世代の援助に効果がある。「コロナに負けるな応援給食」として期間限定でも、半額・3分の1でも実施して、給食費を家庭の中で生活費や教育環境向上に回して頂いては。

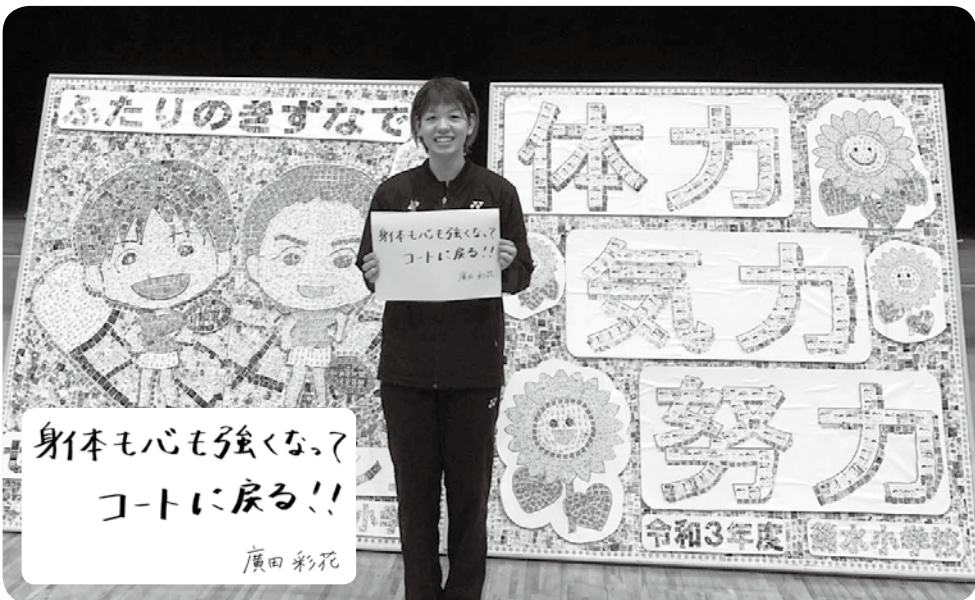
答 (町長) 状況を検証検討する。

ズバリ!聞きます

廣田 彩花 選手と新春初打会

令和4年1月2日、午前10時より和水平町体育館で廣田彩花後援会が主催する新春初打会が開催されました。

コロナ過の中、人数を制限しての開催となりましたが参加者の方々は廣田選手とのプレーを限られた時間の中で楽しめました。



初打会の様子

【廣田選手の現在の目標は】

まずは、試合に復帰し3月の全英オープンでフクヒロペアでの試合出場を目指します。

全英オープンでどれだけやれるかを判断して今後のことを考えていきたい。

その先にパリ五輪を目指すとなれば、公言していく。

台湾の「陳銘俊」総領事が訪町

1月7日、福岡台湾総領事館の陳銘俊総領事が和水平町を訪問され、町長、議長と会談されました。

町長が台湾の人々から、東北震災や熊本地震の折には多額の義援金をいただき感謝していること。また半導体大手TSMC（台湾積体電路製造）の熊本進出のお礼を述べると、陳総領事は、日本と台湾は兄弟のようなものだ。両国民は互いに尊敬し合い、思いやりの心がある。と答礼されました。

また、台湾国民の5人に1人は日本を訪問している。是非、日本からも台湾を訪れて欲しい。更には、友好交流の橋渡し役も務める意思がある。是非、交流を深めよう。と述べられました。



左から高瀬町長、陳総領事、蒲池議長